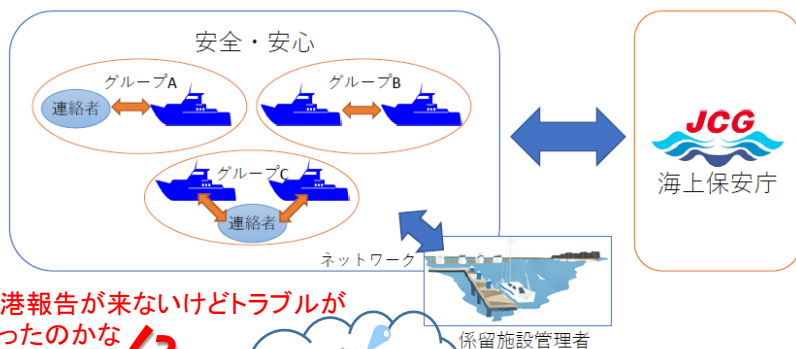




- 小型船舶は、大型船舶と異なりAIS装置は義務化されておらず、また高価であるなどを理由に航海計器を搭載していないため、極めて脆弱な体制であるのが実情である。
そのため、運航者自身が自船の位置情報を得難いだけでなく、第三者からも当該運航者の位置情報が得難く、トラブルが発生しても僚船や公的機関が正確な位置情報を掴むのが困難となっている。
- そこで、今や多くの国民が所有するスマートフォンを活用し、位置情報、出入港情報その他の安全に係る情報を関係者(家族、マリナー・クラブ管理者等)と共有することなどにより、安全な活動環境を整備するべくスマートフォンアプリの開発を進めている。
なお、同アプリでは、上記以外にも気象海象、海の安全情報を始めとした様々な利便性の良い情報を付加し、安全かつ楽しい海上活動をサポートしていく予定である。

マリンコンパスの主な機能(予定)

- ・ 位置情報の共有
- ・ 出入港情報、航海計画の共有
- ・ 海の安全情報の表示
- ・ ナビゲーション機能



関係者間で情報共有ネットワークを構築することで、異変にすぐ気づくことが可能になり、速やかに海上保安庁等に救助を求めることが可能です。



(公社) 関東小型船安全協会

※アプリ開発・運営: インフカム(株)





marine Compass



マリコン

スマートフォン・アプリ マリンコンパス marinecompass.jp

無料アプリの
ダウンロードは
こちら



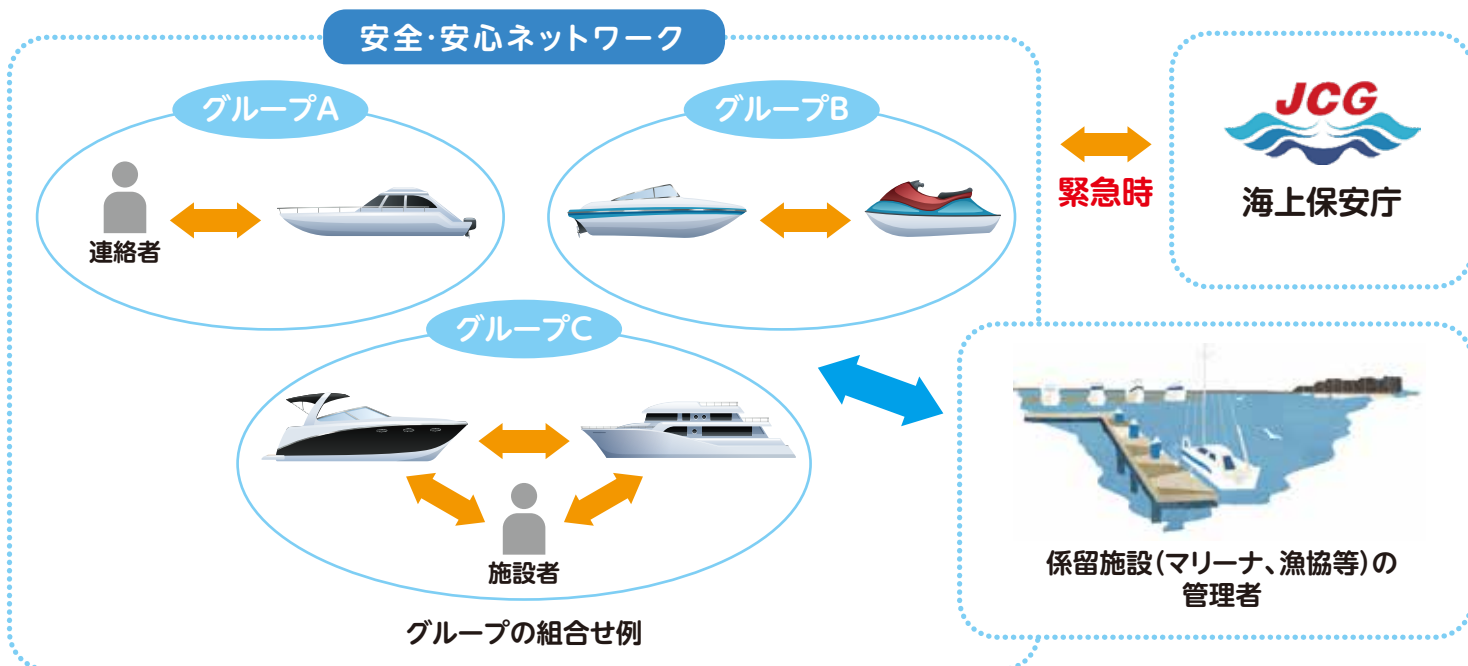
小型船舶やミニボートの安全・安心ネットワークです。

船長はスマホアプリの利用で、
航海計画・出帰港記録・位置情報を、
家族・友人・僚船等とグループを
作成し共有できます。

マリーナや漁協などの
係留施設者は、所属船の航海計画・
出帰港記録・船の位置等を
ネットワークで共有できます。

緊急時はグループ等を通じて
海上保安庁に速やかに救助を
求めることが可能となります。

安全・安心ネットワーク





marine Compass

アプリ機能の概要

- 自船の登録
- 航海計画の登録
- 出帰港届
- 連絡者(家族等)又は僚船間にてグループ設定
- 航行中の自船位置やメッセージ等をグループで共有
- 海上保安庁が提供する「海の安全情報」をアプリの地図上で表示
- 過去の出帰港履歴
- 現在の自船位置から目的地までの時間計測機能
- 緊急情報や警報を含めた各種情報の受信
- その他、順次拡張

係留施設(マリーナ、漁協等)用のネットワーク機能

小型船舶やミニボートなどの操船者と関係ある係留施設や団体が出帰港及び、船の位置情報等を共有できるネットワークシステムです。



スマート
フォン

- 航海計画の作成
- 出帰港届、現在位置
- 連絡者やグループと共有
- 各種情報の取得



係留施設
のPC等

- 管理者アカウントで利用
- 係留船の出帰港の確認
- 係留船の海上位置の確認
- 関係船へのメッセージ発信

係留施設(マリーナや漁協など)に所属する船の出帰港及び海上の位置確認、船への情報発信機能などがご利用いただける安全対策ネットワークです。海の安全対策に関しては公益社団法人関東小型船安全協会、マリンコンパスのサービス、広告、システム連携に関してはインフカム株式会社までお問い合わせください。

- 海の安全対策に関する問い合わせ
公益社団法人関東小型船安全協会
ksak@wind.ocn.ne.jp
- サービス、広告、システム連携に関する問い合わせ
インフカム株式会社
otoiawase@marinecompass.jp